



「令和」きまりを守り、よいことのたし算を

～6月の校長講話より～

4年生は、習字の時間に「令和」を書いたり、国語の時間、漢字辞典で「令」「和」の意味について調べたりしました。4年生にそれを教えてもらいました。

「令」・・・①いいつけ・命令 ②きまり ③よい・立派

「和」・・・①なごやか・おだやか ②やわらぐ・なごむ

③声や調子を合わせる・ほどよく合わせる ④たし算の答え

「令」の②は「きまり」という意味です。きまりというと嫌なイメージがあるかもしれませんが、人が集まった時にきまりを守らない人がいたら、どんなことが起こるでしょうか。

例えば、ドッジボール。ボールが当たったら外野に出ます。でも当たっても外野に出ないでドッジボールを続けている人がいました。注意しても「やだ!」と言って、聞きません。みんな、つまらなくなってしまうました。こんな自分勝手な人がいると楽しくなくなります。「きまり」は、みんなが楽しくなり、気持ちや和むためのものだとわかります。

きまりを守ると「和」の①や②にあるように和やかでおだやかになるのです。「和」には、③の互いの声や調子を合わせる、つまり、協力し合うという意味もあります。

「和」の④、たし算の答えという意味については、算数で使っていますが、学校では毎日いろいろなものを足しています。

友だちどうし認め合い、励まし合って、感謝し合う、ことばの足し算。「いいね。」「がんばれ。」「わかるわかる。」「ありがとう。」そんな言葉の足し算は、みんなを笑顔にし、学校を温かくしてくれます。

「考える」たし算。自分の考えを友達の考えと合わせていけば、考えが広くなったり深くなったりします。授業がもっと楽しくなりそうです。

このように考えると、「和」は八幡小学校の「ひとりのちからをみんなのちからに」と同じことであり、「令和」は八幡小学校のめざす子どもの姿と重なってきます。

子どもたちと、何を足して、何を増やしていくかを考えて、「心ゆたかにたくましく生きる子ども」を育てていきたいと思ひます。



棚田の稲づくり



今年も名月会の方にお世話になり、5年生が棚田で稲づくりをしています。5月23日に田んぼの代掻きを見せていただき、6月4日には田植えを行いました。田んぼにはだして入るのが初めての子も多く、泥の感触に歓声が上がります。田んぼの生き物にも興味深々。

苗の束を持った子どもたちは、名月会の皆さんに教えていただきながら、苗を植え付け始めました。最初のうちは、不安そうに植えていた子どもたちも、次第に手際よく作業ができるようになり、あっという間に

田植えが完了しました。

収穫の秋まで水の管理などは、地域の方にお願ひし、子どもたちは時々田んぼの様子を見たり、草取りをしたりします。

棚田での学習については、9月28日（土）にあんずホールで行われる「ふるさと物語」で発表の予定です。

今の八幡小学校は・・・その2「外国語」

今年、八幡小学校の日課で大きく変わったことがあります。それは水曜日です。清掃をカットし、昼休み後はすぐに5時間目、そして3年生以上は6時間目も授業となりました。昨年度までより週1時間授業が増えたのです。これは5・6年生で「外国語」が週2時間入ったためです。

5・6年生では「外国語活動」として平成23年度より週1時間の授業が行われてきましたが、来年度より3・4年生が週1時間の「外国語活動」、5・6年生は教科としての「外国語」が来年度より全面実施となります。千曲市では先行して今年からこの時数で授業となりました。



半分くらいはALTと一緒に授業をしますが、授業を行うのは基本的に担任です。他の学校で「英語専科」がいる学校もありますが、八幡小学校には専科はありません。外国語の授業は準備も多いので、担任が工夫して時間を見出しています。

外国語に親しみながら、コミュニケーションの基礎となる力を付けていく授業をするために、先生方も研修を通して学んでいます。